

茨城県行方市立 玉造小学校で環境教育プログラム 「ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）」を開催 ～”脱炭素社会の実現”と“再生可能エネルギー”について学ぶ～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田中 辰明、以下「当社」）は、2026年7月13日に茨城県行方市立玉造小学校にて、環境教育プログラム「ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）」の環境授業を開催しました。本プログラムは、子どもたちが地球温暖化の現状を学び脱炭素社会の実現や再エネについて理解を深めていただくことを目的として実施しました。

当日は、当社再エネ発電所のある茨城県行方市の玉造小学校にて、6年生74名に参加いただきました。本授業は『脱炭素社会の実現と再生可能エネルギー』をテーマに、再エネが脱炭素社会の実現に果たす役割や当社の事業を通じた環境課題へのアプローチを紹介し、子どもたちが「環境のために自分たちにできること」を自ら考えるきっかけづくりを目指しました。

座学にとどまらず、カードを用いたワークショップも展開しました。4～6名の少人数グループでの話し合いでは、子どもたち同士で活発に意見が飛び交い、熱気あふれる場となりました。

授業の最後に設けた質疑応答では、「太陽光パネルはいくらですか」といった再エネに関する率直な質問や感想が多数寄せられ、子どもたちの環境に対する関心の高さがうかがえる有意義な場となりました。

当社は、地域との連携を強化し、地域の脱炭素化と経済の好循環の両立を目指す取り組みの一環として本プログラムを実施しました。子どもたちの好奇心や探求心を大切にし、持続的な社会の実現を目指して、より多くの方々が環境問題に関心を持つきっかけとなるよう、ReENE ÉCOLEの活動を今後も積極的に推進してまいります。



▲環境授業の様子

■ReENE ÉCOLE（リエネ エコール）とは



**ReENE
ÉCOLE**
リエネ エコール

「ReENE ÉCOLE」とは、東急不動産の再生可能エネルギー事業「ReENE（リエネ）」のブランド名と、フランス語で学校・学び舎“を指す「ÉCOLE」を組み合わせ、発電所のある地域をはじめ全国の子供たちに、再生可能エネルギーを中心とした環境問題を楽しんで学んでいただくことを目的とした環境教育プログラムです。

〈実施事例〉

2024年12月、全国各地の子供たちがつながり、地球の今と未来を考えるオンライン型環境教育イベント「ReENE サミット（リエネサミット）」を開催しました。

本イベントは、子供向けの教育活動に多数の実績を誇る株式会社探究学舎とコラボし、自分たちの住むまちや地球の「いま」と「みらい」を考えてもらうことを目的として実施し、186名の方に参加申し込みをいただきました。



イベントの様子

■イベント概要

▽イベント名：ReENE ÉCOLE

▽主催：東急不動産

▽内容：脱炭素社会の実現と再生可能エネルギー

▽日時：2026年7月13日（月） 13:40～14:25（2クラス合同）

▽対象：小学6年生 74名

▽場所：小学校 多目的ホール



東急不動産